

【目次】

1.アーカイブ No.44

連載「日本労働会館物語」第41回

＜惟一館から新友愛会館までの変遷＞

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.44

連載「日本労働会館物語」第41回 2013.08.30 発行の第 69 号に掲載

＜惟一館から新友愛会館までの変遷＞

1894(明治 27)年に米国ユニテリアン協会により建設された惟一館(現友愛会館。設計 J・コンドル)は、2012 年に新友愛会館へと変遷し、来年(2014 年)で 120 年の歴史を積み重ねます。

この 120 年は、建物の名前に因み、便宜上、惟一館時代(1894 年～1923 年)、総同盟会館時代(1923 年～1931 年)、日本労働会館時代(1931 年～1949 年)、総同盟会館・全織同盟会館時代(1949 年～1964 年)、友愛会館・三田会館時代(1964 年～)に区分されます。

☆惟一館時代(1894 年～1923 年頃)



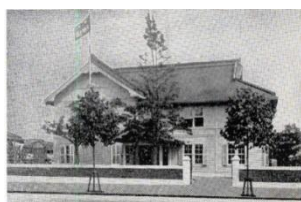
1894(明治 27)年、米国ユニテリアン協会は東京市芝区三田四国町にユニテリアン教会・惟一館を建設し、惟一館時代がスタートします。この 1894 年から米国ユニテリアン協会が日本より撤退する 1923(大正 12)年頃までの時代を、便宜上、惟一館時代と呼んでいます。鈴木文治が友愛会(後の総同盟)を創立し、本部を置いたのは 1912(大正元)年です。

☆総同盟会館時代(1923 年頃～1931 年)



惟一館を建設した米国ユニテリアン協会は、1923(大正 12)年頃に日本から撤退。建物は売却されますが、友愛会・総同盟は引き続き事務所を構えます。このため建物は、総同盟会館と呼ばれたと推定されます。この 1923 年頃から総同盟が惟一館を正式に買収し、日本労働会館とする 1931(昭和 6)年までの時代を、便宜上、総同盟会館時代と呼びます。

☆日本労働会館時代(1931 年～1949 年)



総同盟は 1930(昭和 5)年、組合員カンパにより唯一館を買収し、翌 1931 年に大改修を加え日本労働会館とします。1946(昭和 11)には、アパートメントハウス青雲荘と友愛診療所が建設されます。この 1931 年から 1949(昭和 24)年までを、便宜上、日本労働会館時代と呼んでいます。但し、建物は 1945 年 5 月の山の手大空襲で焼失しています。

☆総同盟会館・全織同盟会館時代(1949 年～1964 年)



戦後の 1946(昭和 21)年、旧青雲荘・友愛診療所の後に、芝園食堂が建設されます。そして 1949(昭和 24)年には、総同盟会館と全織同盟(現 UA ゼンセン)会館が建設されます(全織同盟は後に市ヶ谷に移転)。この 1949 年から 1964 年までを、便宜上、総同盟会館・全織同盟会館時代、あるいは単に総同盟会館時代と呼びます。

☆友愛会館・三田会館時代(1964 年～)



1964(昭和 39)年、老朽化した総同盟会館は、新たに 9 階建の友愛会館(6～9 階)に建て替えられました(左写真)。1979(昭和 54)年、友愛会館横に独立・9 階建のホテル三田会館が建設されます。そして友愛会創立 100 年を迎えた 2012 年、三田会館(2～8 階)と友愛会館(9～16 階)は立て替えられ、新友愛会館となりました。



「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F

TEL03-3453-5386

Eメール yuirodorekishikan@rodokaikan.org

HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

唯一館から132年、友愛から114年